



学校だより くんとう
薫 隆

令和4年11月28日(月)

かほく市立七塚小学校

校長 宗廣 進一

学校教育目標 「自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成」

整理整頓・へんじ・あいさつ・くつそろえ・・・ 心を磨く

いよいよ12月、ずいぶん日も短くなりました。木枯らしとともに寒さも増し、新型コロナとインフルエンザとの同時流行の恐れが伝えられています。ご家族のみなさんが体調を崩さずに元気にこの冬を乗り越えられるよう願っています。

さて、サッカーワールドカップではサムライブルーのユニホームが初戦のドイツ戦で見事な逆転勝ちを収めるという誇らしいニュースが飛び込んできました。この数年間、計画的に練習を積み上げ確実に実力を高めてきたことの成果が見事に花開いた結果だと思えます。

そして、今回も一昨年に続き日本人の精神性のすばらしさが世界中で注目されています。ドイツ戦のあとのロッカールームは塵一つなく、中央のテーブルにユニホームやビブスが綺麗に畳まれ、テーブルの上には折り鶴とともに、日本語とアラビア語で「ありがとう!!」と書かれた置き紙が残されていたそうです。応援していた日本の観客も自分たちの座席のごみを拾いきれいにしてからその場を去りました。試合の勝敗に関係なく正々堂々と全力で戦い、相手をリスペクトし、周りの人たちに感謝しながら自身を磨いていることの表れでしょう。これは誇るべき日本の文化であり人の能力を開花させる心の持ちようだともいえ、世界で活躍する多くの日本人がこれを証明しています。日本では家庭や社会だけでなく武道などのスポ



2020年 ベルギーに負けた日本のロッカールーム



今回 ドイツに勝利した後の日本のロッカールーム



ーツでも礼儀を重んじ、学校でも掃除の時間には自分の心を磨くという意味合いも含めて指導し、下足箱の靴や教室の棚など、いつもきちんと揃えている子ども達がたくさんいます。毎日の給食では、どの学級も食器、スプーン・箸をきれいに食器かごに戻すなど、後片付けもすてきです。また、「おはようございます」という朝のあいさつや廊下で出会ったときの「こんにちは」の声にさわやかさを感じ、嬉しく頼もしく感じています。

しつけ・マナーといわれることは、つけるべき時期に教えて身に付けさせないとなかなか身に付かず、タイミングを逃して後で身に付けさせようとすると、その倍の時間と労力がかかると言われます。

返事、挨拶、靴揃え、ちょっとしたことですが、身に付いていればその子が社会に出たときに身を助けることでもあります。躰の方法は、兄弟姉妹それぞれかもしれませんが、一人一人の個性に応じたアドバイスを常々考えていきたいものです。ご家庭でも意識していただけたら身につくのも早いと思います。学校とご家庭で連携して取り組んでいきましょう。



《 県教育委員会からの表彰 》

夏休みに保護者の皆様に取り組んでいただいている「親子の手紙 一筆啓上」による心の教育推進活動の長年の本校の取り組みに対して、県教育委員会から表彰を受けました。

(11月5日の表彰式にて)

